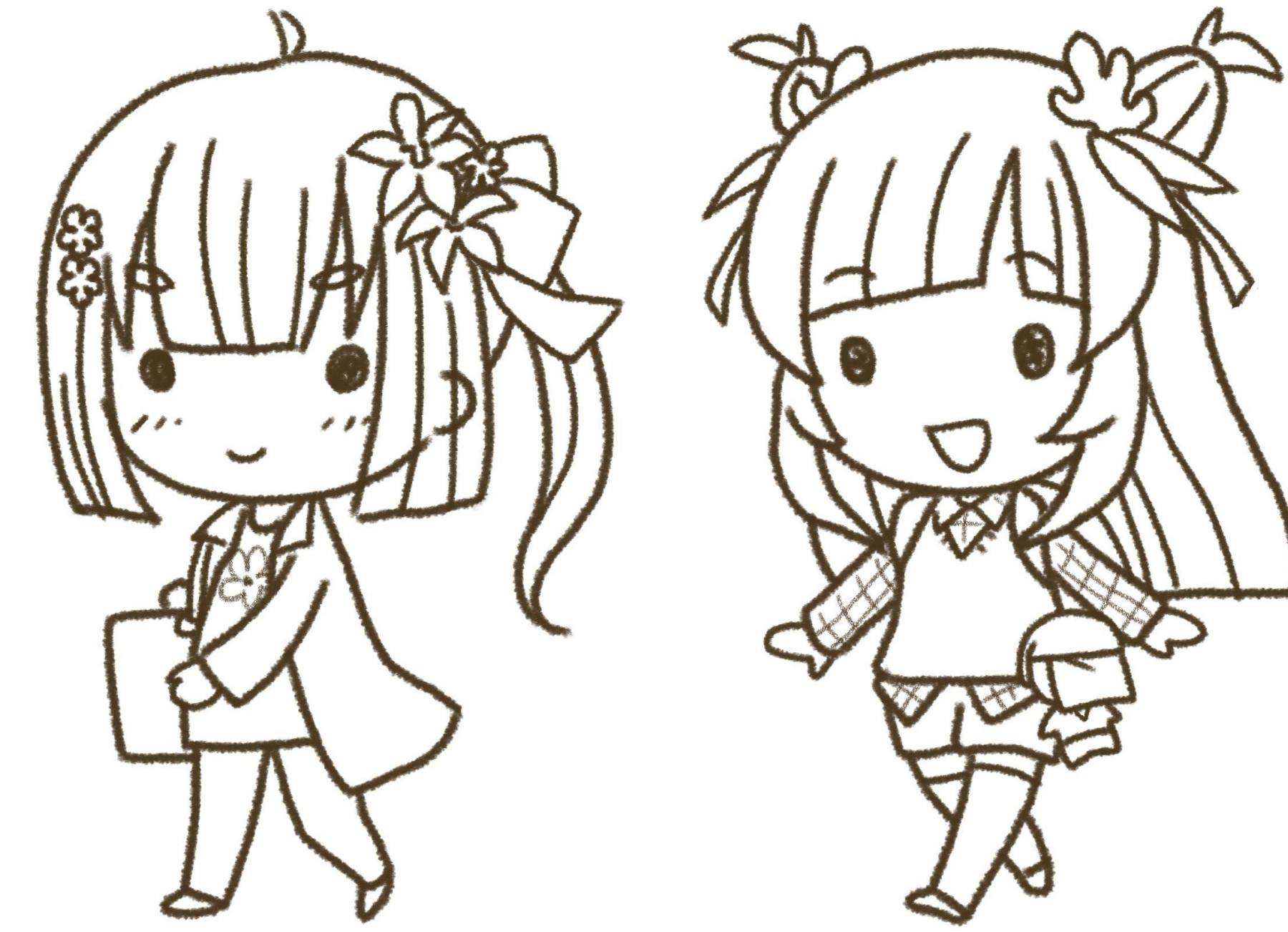


生きものマップが語る能勢の自然



深山
標高790.5mで北摂山系の最高峰。コナラやクリを主体とした広葉樹林が広がり、山頂部や稜線部にはキンキザサの群落がある。三草山ゼフィルスにはいない山地性のアノミドリシジミやエゾミドリシジミ（ともに大阪府絶滅危惧Ⅱ類、剣尾山にも記録あり）、ウラクロミドリシジミなどがある。

銀寄発祥の地
「銀寄」のルーツは江戸時代に能勢町歌垣の人が持ち帰った栗を植えると立派な実をつけ、この地に広まったのが始まりとされる。天明・寛政年間の大飢饉のとき、このクリを出荷したところ多くの銀札を寄せることができ、人々を救ったことから、以来「銀を寄せる栗」ということで「銀寄」とよばれるようになったとされる。また黒ぼく土という土壌とも関連があると考えられる。



「銀寄」と500円玉との比較



ウマノオバチ

剣尾山
標高784mで北摂山系の主要な山。花崗岩からなり、主としてアカマツ・コナラ林で構成される。ヤマキマダラヒカゲやヒメキマダラヒカゲのような冷温帯性の昆虫が生息する。豊かな里山里山生態系のシンボルであるオオタカの生息も確認されている。また岩の多いところにはヒメコマツやや寒地性のベニドウダンなどもみられる。



タカチホヘビ



オオタカ



アナグマ

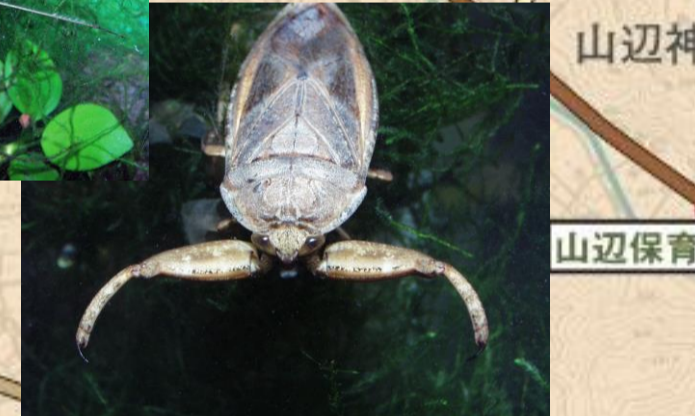
行者山
剣尾山につながる東尾根（標高440m）を行者山とよぶ。巨岩がたくさんあり、大自然の力による造形がよい。669年に修験道の開祖役行者の入山があり、修験道の鎮行の道場となっている。大阪府内でも珍しい植物も記録されている。



ドジョウ



ミヅカマキリ



タガメ



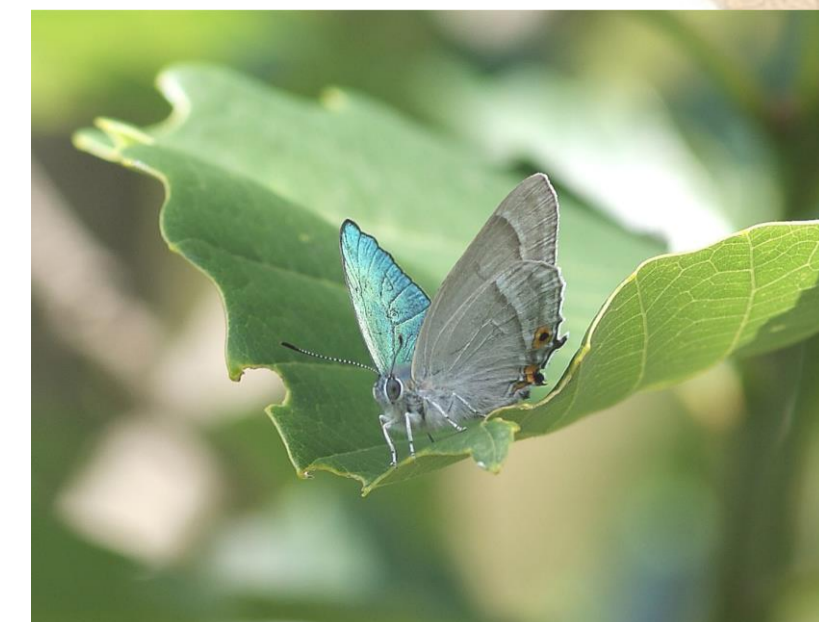
コオイムシ



日本の棚田百選に選ばれている長谷の棚田



ハタネズミ



ヒロオビミドリシジミ



ササユリ
能勢町の町の花。日本固有種。管理された里山の象徴的な生きものともなっている。6月ごろ開花し、強い芳香がある。能勢町に限らず、森林利用の減少による環境の変化と盗掘被害などにより数を減らしている地域も多い。



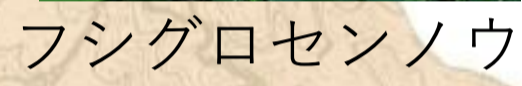
フクロウ



アオバズク



キマダラルリツバメ



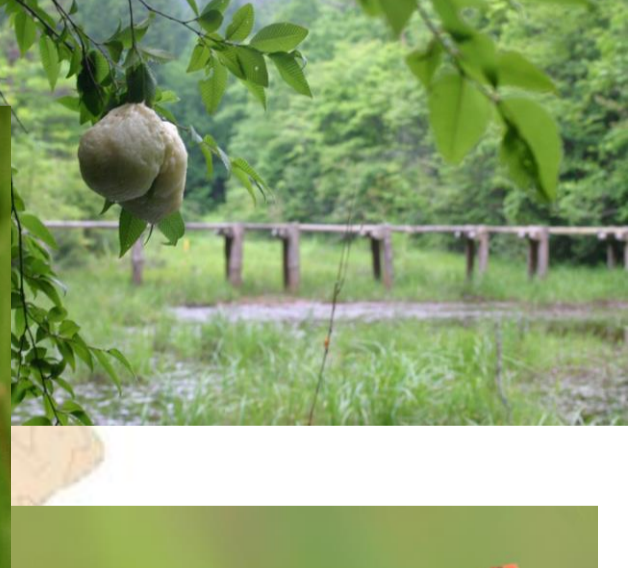
フシグロセンノウ

歌垣山
標高553.5m、男山、女山からなる双耳峰。万葉の時代より「歌合わせ」（=歌会（かがい））が行われた山で、常陸の筑波山、備前の杵島山とあわせて日本三大歌垣山のひとつ。かつては、蝶の不思議な習性の一つであるヒルトッピング（Hill Topping）をギフチョウが行っていた。

地黄湿地
1998年大阪府緑地環境保全地域に指定。ハッコウトンボ、トキソウやサギソウなど貧栄養湿地に生息する希少種の宝庫となっている。



トキソウ



ハッコウトンボ



ムカシトンボ



野間の大けやき

野間の大けやき
1948年国の天然記念物に指定。能勢町のゆたかな自然環境のシンボルであり、その樹齢は1000年ともいわれる。高さ27.37m、幹回り13.01m、最大枝張は幅39.3m、高さ36.2mの巨樹。毎年4月下旬～7月下旬にアオバズクがやってくる。

妙見山
1989年大阪府自然環境保全地域に指定。標高660.1m、西日本では珍しく標高1000m未満であるにもかかわらず、ブナ林が成立。アカガシなどの常緑広葉樹が混じった林相を有しており、学術的にも貴重な樹林。

生きものカレンダー

1月	オオムラサキとゴマダラチョウの越冬幼虫	春の七草	フユイチゴ	きつねがえり
2月	オオムラサキとゴマダラチョウの越冬幼虫	台場くぬぎと菊炭	モシロコウ	タムシバ
3月	ニホンミツバチの分蜂	ニホンアマガエル	ダンコウバイ	ユキワリイチゲ
4月	ゲンジボタル	キビタキ	トキソウ	タムシバ
5月	ウラナミアカシジミ	モリアオガエル	アオバズク	タムシバ
6月	ウラナミアカシジミ	モリアオガエル	アオバズク	タムシバ
7月	カブトムシ	ミヤマカワトンボ	タマシ	カヤネズミの糞
8月	ミヤマクワガタ	ミンミンゼミ	オミナエシ	ノカンソウ
9月	オオカマキリ	アキアカネ	リンドウ	フシグロセンノウ
10月	センブリ	ミツバアケビ	シイタケ	エサキモンキツノカメシ越冬
11月	オオカマキリ	卵のう	エサキモンキツノカメシ越冬	ヤブコウジ
12月	オオカマキリ	卵のう	エサキモンキツノカメシ越冬	ウメバチソウ

※成虫の発生、開花の時期、鳴き声など12か月のうちでも一番よく出会ったり、五感で感じる部分が多い時期です。



能勢町の大字